

病名 (尿失禁手術) 症状 (尿漏れなど)

患者番号：

患者氏名：

様

月日 /	手術当日 (/)	手術時間 (:)	/	/	/	
経過 (病日等)	外来～手術前日 (入院日)	手術<術前>	手術<術後>	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目 (退院日)
達成目標	☆手術に対して理解ができ、不安が表出できる		☆苦痛の緩和を図る ☆創部の異常がない	☆創部の異常がない ☆退院後の生活について理解できる		☆体重・排便コントロールができる☆経過良好により退院ができる
治療 ・ 薬剤 (点滴・内服)	☆現在内服中のお薬を確認します。 ☆入院中、内服薬は原則としてご報告頂いた内容に基づき、病院から用意いたします。 ☆明日の手術に備え、睡眠剤と下剤を服用します (22時ごろ)	☆点滴をします。 ※翌日まで続きます。	☆手術後点滴があります。 	☆点滴があります。 (点滴終了後針を抜きます。) ☆内服薬が開始になります。		
処置	次のことを看護師と確認します。 ☆手術に必要なものをそろえて下さい。 (・ストロー又は吸い飲み、パット) ☆リストバンドを手首につけます。 ☆提出して頂く書類の確認をします。 (手術同意書・パットテスト・入院同意書) ☆体温・脈拍・血圧など測定します。	☆浣腸をします。 (朝食前の時間帯) ☆義歯・コンタクト・眼鏡・化粧アクセサリ類ははずして下さい。 ☆歩いて、手術室へ行きます。 ☆手術部位の除毛をします (手術室で麻酔してから行います) ☆手術室へ行く前に 体温・脈拍・血圧測定します。	☆創部の確認をします。 ☆手術後は看護師が定期的に 体温・脈拍・血圧を測定します。 	☆創部の確認をします。 ☆膀胱留置カテーテルを 朝食前に抜きます。 ☆定時に体温・脈拍・血圧 測定します。	☆定時に体温・ 脈拍・血圧測定 します。	
検査	☆手術前の検査を受けられているか確認します。 レントゲン・心電図・血液・検尿パッドテスト			☆6時ごろに採血があります。 ☆朝食前に膀胱留置カテーテルを抜いた後、残尿工コーを行いません	☆排尿前後に残尿工コー・体重測定を行います。	
活動・安静度	☆院内自由です。		☆ベッド上安静です ※寝返りはできます。	☆膀胱留置カテーテルを抜去後 トイレ・洗面のみ動けます。	☆トイレや洗面など積極的に動いて下さい	☆院内自由です。
リハビリ	☆リハビリの予定はありません					
食事	☆普通食がです。 ☆21時ごろより絶食になります。 水分摂取については看護師が説明します。 	☆絶食です。	☆手術後に看護師が水分 摂取時間を説明します 	☆朝から普通食が始まります。		
清潔	☆爪の長い方は切ってください。 マニキュア・化粧も落として下さい ☆当日朝に自宅で入浴・洗髪をしてきてください。	☆起床後、歯磨き・洗面を済ませて ください。 	☆洗面、うがいができるように します。	☆シャワー浴ができます。 (浴室使用可能時間は、 火・木・土 9：00～11：30 13：00～15：30です。)		
排泄			☆手術後は、膀胱留置カテーテルが 入っています。 尿は自然に出ます。	☆カテーテルを抜いた後、最初の 尿に行く前に看護師にお知らせ 下さい☆ウォシュレットは使用 禁止です (手術後1ヶ月程度まで)		
患者さま及び ご家族への説明 栄養指導 服薬指導	☆看護師によるオリエンテーションがあります。 ・病棟案内、入院中の日課など説明します。 ・入院までの経過など病状を伺います。 ・入院中の予定について説明します。 ☆麻酔科医より説明があります ☆治療・手術などについての質問がありましたら 看護師にお知らせください。			☆退院後の生活について説明 します。		☆退院日が決まれば次回受診日 について説明します。 ☆主治医の許可が出れば退院と なります。
退院に向けて (在宅復帰支援計画) 相談	退院に向けてお困り事や不安なことがありましたら病棟担当相談員、又は担当看護師にご相談下さい			退院後の<<治療計画>> ・次回受診 ()		
その他 (看護計画など)	安全・安楽に検査・治療が受けられるようサポートしてまいります。			退院後の<<療養上の問題点>> ・		